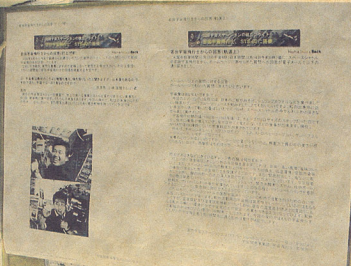


若田さんからのメールを載せたホームページを紹介する掲示板



# 草加せんべいは「宇宙食」

## 「若田さん食べた」でPR

### 市役所ロビーでメール公開

スペースシャトル「ディスカバリー」で宇宙を飛行中の若田光一さん(37)(大宮市出身)が、シャトル内で「草加せんべい」を食べたことを知った草加市商工課は十九日、若田さんから地球に届いた電子メールを拡大して市役所ロビーや市文化会館などに張り出し、「草加せんべいは宇宙時代の伝統銘菓」と紹介を始めた。

このメールは十三日、米テキサス州ヒューストンのジョンソン宇宙センターに届いた。宇宙開発事業団のホームページに寄せられた「宇宙食はおいしいですか」との質問に答えたもので、若田さんは「香ばしいせんべいを、シャトルの中でふわふわと浮きながら楽しく頂きました」と報告している。

メールはすでに、同事業団のホームページに掲載されており、市は事業団の了解を得て、市は事業団の了解を得て、市長の藤田清さん(37)が草加朝陽協同組合の理事長も務めている鎌田さんの

もとに七月、茨城県つくば市の宇宙開発センターからせんべいの注文があり、天日干したうるち米の生地を手焼きしてしょうゆ味にした様子だ。

硬焼きに仕上げた一枚百円の草加せんべい十枚を送った。八月にさらに十枚の追加注文があったという。「同業者からシャランジヤン電話があって、初めて知った」と話す鎌田さんは、「草加せんべいが宇宙でも伝統を発揮出来たことに喜びを感じている」と感激した様子だ。

### モナザイト回収へ

きょうから最終処分先は未定

大宮

大宮市大成町のパソコン問題で、科学技術局の十店「安原OAセンター」の九日、きょう二十日から同倉庫床下に、放射性物質を含む鉱物「モナザイト」約百二十キログラムがばらまかれていた。作業は、ばらまかれたモ